

タイ、チョンブリ県における町ぐるみ高齢者ケア・包括プロジェクト-サンスク町をパイロット地域として（2016年～2018年）

健康長寿ブランドを高齢化が進むタイに輸出！

■ 実施団体：

長野県佐久市

学校法人佐久学園 佐久大学

■ 対象国・地域：

タイ国 チョンブリ県サンスク町

■ 現地カウンターパート

サンスク町、保健省、タイ国立ブラパ大学看護学部

■ 協力内容：

- ・高齢者の在宅ケアを推進するためのシステムづくり
- ・人々の健康状態に合う介護予防活動プログラムに改編

■ 団体のこれまでの取り組み：

- ・佐久大学とブラパ大学により「高齢者が支え、支えられるコミュニティのネットワークづくり」プロジェクトを実施

■ 事業実施の背景：

・佐久市は「世界最高健康都市構想実現プラン」に基づき、自治体・住民・医療機関・関連団体が一体となり「健康で長生きができるまちづくり」活動を展開してきた。また、国内外への発信・展開も積極的に行ってきた。



タイ国の課題と成果

課題① 要介護高齢者数が増加し、家族による継続的な介護力の不足が起きている

成果① 「サンスク町在宅ケアモデル」を作成。ヘルスボランティア（日本の民生児童委員）及び地域の看護師による訪問ケアを実現。既存のお寺単位での介護予防活動を、健康状態に合わせたプログラムに改編。

課題② 地域行政の中で、高齢者を訪問できる専門職の人数が極度に不足している

成果② 協力病院及びブラパ大学から1か月に1回程度理学療法士が派遣。ヘルスボランティアのケア能力が向上し、巡回訪問リハビリの質が向上した。

事業の波及効果



佐久市とサンスク町、双方に自信と笑顔！！

- ・訪問回数の増やリハビリの質の向上により、これまで寝たきりの患者が歩けるまでに回復した症例あり。「サンスク町の高齢者ケア」が良いと聞きサンスク町に引っ越してくる高齢者も増えた。それらはヘルスボランティアの自信とモチベーションUPに繋がった。
- ・市役所・浅間総合病院・佐久総合病院・佐久大学がプロジェクトを協働することで、関係者の結束が強まり、現地への指導能力が増した。また佐久市の医療従事者も、現地の人々の懸命な様子に心を動かされ、現地活動後、国内の活動においても自信を持って明るい笑顔で患者と向き合っている。